

授 業 科目名	【 G 】	行政法(各論)	区 分	開講年次	【 G 】 3 【 EF 】 3	単位数	【 G 】 2 【 EF 】 2
	【 EF 】	行政法各論	選 択				
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【 G 】 【 EF 】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	行政法の各論部分				担当者	八木 保夫	
授業概要	【概要】	近年では、従来からの伝統的な行政法各論の編別に、新たに発展してきている給付行政の視点や生活者保護を政策課題とする法領域などを加えて再編成した編別構成がとられている。本科目でも、大きく行政組織法(国家行政組織法, 地方自治法等), 生活秩序行政法(警察行政法, 社会保障法等), 生活環境行政法(都市計画法, 環境保全法等)に大別する各論構成を念頭に置きつつ, とりわけ基礎理論として必要な行政組織法, 公務員法, 公物法, 都市計画法, 財政法等の法分野を対象として学習する。					
	【到達目標】	行政法総論等で学んだ行政法の総論理論と行政法各論の各個別法分野における法原則・法理論とが, どのように相互関連し合っているかについて理解し, 考えることができるようになる。					
履修条件	行政法概論, 行政法総論Ⅰ・Ⅱを履修済みであることを前提として講義を進める。						
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	事前に憲法概論, 憲法(人権・統治), 民法概論等を受講済みであること, 並行して行政救済法を受講すること, 次年度以降に, 地方自治法, 環境法等を受講することが望ましい。						
教科書	授業中に, 適宜, 資料を配布する。						
参考書	原田大樹『例解行政法』(東大出版会, 2013 年), 宇賀克也・交告尚史・山本隆司編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ(第7版)』(有斐閣, 2017 年)						
評価方法	毎回提示する資料の空欄補充課題への回答の有無(30%), 授業3回に1回程度の頻度(通算5回程度)で出題する択一課題への回答(60%)に加え, 授業への取組姿勢(10%)等を勘案して総合的に評価する。なお, 不正行為があった場合は大幅減点とする。						
フィードバック 方法	レジュメ資料の空欄補充課題および択一課題に対する模範解答と解説を, 課題出題の次の週に資料「学習の手引き」において全履修者に提示し, 学習内容の定着と振り返りを促す。						
評価基準	身近に存在する行政法の役割・特徴について十分理解し文章等で説明できる者は程度に応じてSまたはA評価, 行政法の特徴についてよく理解できる者はB評価、行政法で使用される用語の意味について一応の理解ができる者はC評価、C評価に満たない者については程度に応じてDまたはE評価とし、小テスト欠席等、評価不能な者に対してはF評価とする。						
その他	他の履修者の提出物の模倣, 他の者による身代わり回答等, 履修態度が良くない者には厳正に対処する。 ※Gカリ:選択 / EFカリ:選択						

授 業	【 G 】	行政法（各論）	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
科目名	【EF】	行政法各論	選 択		【EF】 3		【EF】 2
授業回数	授業内容						
1	はじめに(ガイダンス)						
	予習： 行政法に関する基礎的知識の確認(100分)			復習： 行政法各論の編別構成を理解する(80分)			
2	行政組織法(1)(行政主体と行政機関)						
	予習： 行政組織の仕組みについて調べる(100分)			復習： 行政機関の種類を把握する(80分)			
3	行政組織法(2)(行政機関の相互関係)						
	予習： 上級機関と下級機関との関係について調べる(100分)			復習： 上級機関の指揮監督権について理解する(80分)			
4	行政組織法(3)(行政機関の権限の代行)						
	予習： 権限の代行のあり方について調べる(100分)			復習： 権限の委任と代理の違いを理解する(80分)			
5	公務員法(1)(公務員の勤務関係)						
	予習： 公務員の勤務関係について調べる(100分)			復習： 公務員の勤務関係の法的性格を理解する(80分)			
6	公務員法(2)(公務員の権利)						
	予習： 公務員の権利について調べる(100分)			復習： 公務員の財産的権利や労働基本権について考える(80分)			
7	公物法(1)(「公物」の概念)						
	予習： 「公物」について調べる(100分)			復習： 公物概念について理解する(80分)			
8	公物法(2)(公物の種類)						
	予習： 人工公物と自然公物について考える(100分)			復習： 人工公物と自然公物の違いを理解する(80分)			
9	公物法(3)(公物の管理)						
	予習： 地方公共団体による公物管理を考える(100分)			復習： 公物に関する条例制定義務を理解する(80分)			
10	都市計画法(1)(法制度の発展)						
	予習： 都市計画法の歴史について調べる(100分)			復習： 都市概念と法制度との関係について考える(80分)			
11	都市計画法(2)(法構造とその概要)						
	予習： 都市計画法の構造について調べる(100分)			復習： 都市計画法の概要を把握する(80分)			
12	都市計画法(3)(都市計画の決定手続)						
	予習： 都市計画決定の手続的流れについて調べる(100分)			復習： 計画決定過程への市民参加について考える(80分)			
13	都市計画法(4)(地域地区制)						
	予習： 地域地区制の種類を調べる(100分)			復習： 日本の土地利用規制の特徴について考える(80分)			
14	財政法(1)(租税法律主義)						
	予習： 財政法の特徴について調べる(100分)			復習： 租税法律主義・財政民主主義について考える(80分)			
15	財政法(2)(財政法の構造)						
	予習： 財政法の仕組みについて調べる(100分)			復習： 財政法の法原則について理解を深める(80分)			